

# 株主・個人投資家向け 会社説明会

2022年11月16日



Securities Code 4290





1. PIとは？(企業理念と経営方針)
2. 事業紹介 (7つの事業をご説明)
3. 業績推移
4. BPO拠点 (地方との共生)
5. 株主還元
6. サステナビリティ
7. 2023年3月期 第2四半期決算概要
8. 質疑応答

# 1. PIとは？

世の中に数多く存在する  
「お困りごと」を  
「人でしかできない」サービスで  
解決に導き、安心をお届けしたい。

会社名	<b>株式会社プレステージ・インターナショナル</b>
英語表記	<b>Prestige International Inc.</b>
代表取締役	<b>玉上 進一</b>
設立	<b>1986年10月</b>
本社	<b>東京都千代田区麹町2丁目4番地1号</b>
資本金	<b>15億6,155万円 (2022年9月末時点)</b>
連結従業員数	<b>4,763名 (連結／2022年9月末時点)</b>
事業内容	<b>BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業</b>
上場市場	<b>東京証券取引所 プライム市場 (銘柄略称 PI)</b>
証券コード	<b>4290</b>

## Corporate Philosophy

### 経営理念

エンドユーザー（消費者）の不便さや  
困ったことに耳を傾け、  
解決に導く事業創造を行い、  
その発展に伴い社会の問題を解決し、  
貢献できる企業として成長する。



プレステージ・インターナショナル(PI)とは？

PIは、ただのコールセンターではありません。  
自らが独自にサービスを展開する、  
**ビジネス・プロセス・アウトソーサー**です。

損害保険会社に代わって**24時間365日**、  
協力会社の手配や現場急行などの対応をしています。



不動産管理会社に代わって住まいのトラブルに対し、  
業者の手配や現場急行などの対応をしています。



損害保険会社に代わって**24時間365日 日本語**で対応し  
提携医療機関でのキャッシュレス受診を手配します。



現地カード発行銀行のサポートとして、  
**日本人駐在員向け**の外貨建てクレジットカードの  
日本語サービスなどを提供しています。



## 「お困りごと」を解決に導く

### PIにしかない「3つの強み」とは

はじめにお客様のお困りごとをお伺いする「コンタクトセンター」。  
お客様の元へ駆け付け、現場で解決に導く「フィールド」。  
そしてテクノロジーを駆使した業務の効率化や、システム開発・  
運用、さらにはデータ分析までを当社グループで担い、ビジネス  
を下支えする「IT」。

この3つは当社グループ独自の強みであり、またBPOマーケット  
における競争優位性です。





労働人口減少



大手企業によるノンコア業務のアウトソース



BPO拠点基盤と蓄積されたナレッジ



クライアント企業との長期的な信頼関係

## 日本国内における

## BPOマーケットは追い風

日本は少子高齢化社会による労働力の減少が懸念されています。労働管理の改善や自社コア業務に集中すべく、企業によるノンコア業務のアウトソース化が加速しています。

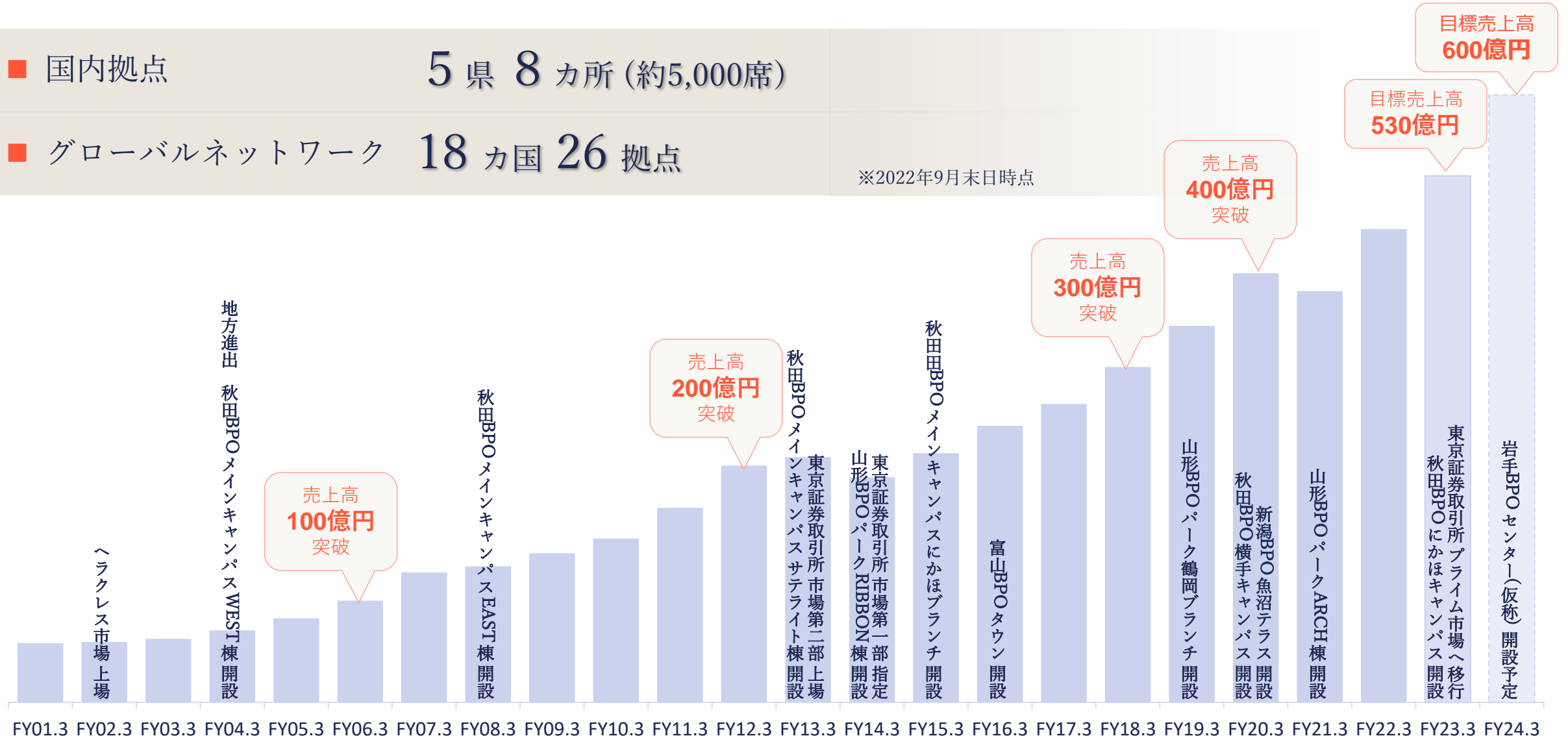
当社グループでは国内BPO拠点に加え、離職率の低さから実現できた優秀な人財による均一な品質のサービス提供、蓄積されたナレッジがあります。

これがクライアント企業からの評価に繋がり、長期的な信頼関係の構築や、事業の拡大を推進しています。

■ 国内拠点 **5 県 8 カ所 (約5,000席)**

■ グローバルネットワーク **18 カ国 26 拠点**

※2022年9月末日時点



## 2. 事業紹介



オートモーティブ  
事業



プロパティ  
事業



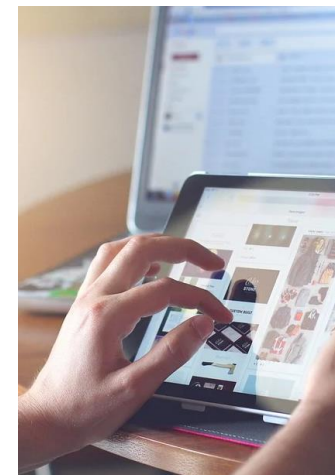
グローバル  
事業



カスタマー  
事業



金融保証  
事業



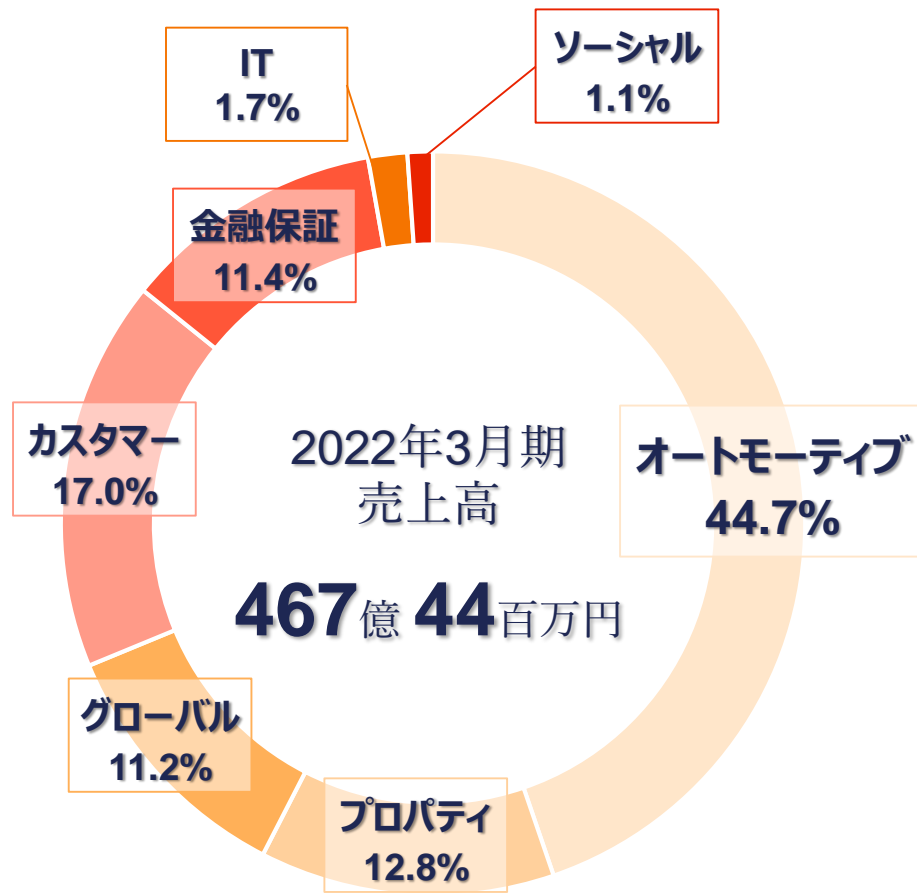
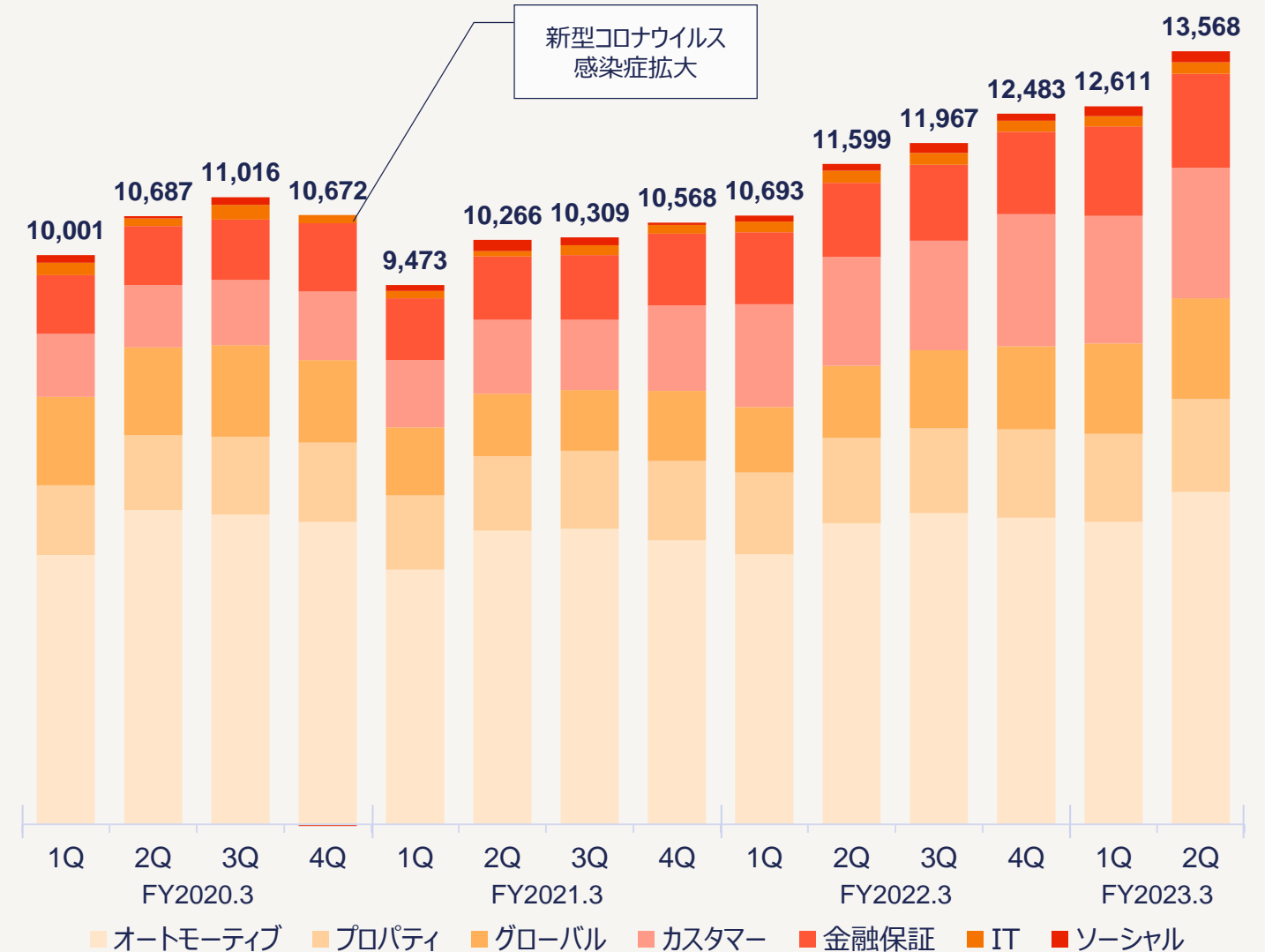
IT  
事業



ソーシャル  
事業

## 四半期別売上高推移

(単位：百万円)



## Automotive オートモーティブ

クライアント企業のお客様からの緊急要請に応じ、24時間365日、電話受付からレッカー搬送、代替交通手段の手配を行うほか、ディーラーサポートやカスタマーサービス、自動車延長保証等、自動車に関する幅広いサービスを提供します。フィールドサポート(トラブルの現場対応)を行うグループ会社の株式会社プレミアアシストをはじめ、フランチャイズ加盟店やパートナー会社とともに、当社グループの誇る高品質なサービスでお客様に安全・安心をお届けします。

### 主要ビジネス

ロードアシスト

事故受付

カスタマー  
サポート

自動車  
延長保証

緊急通報  
サービス

### 主要クライアント

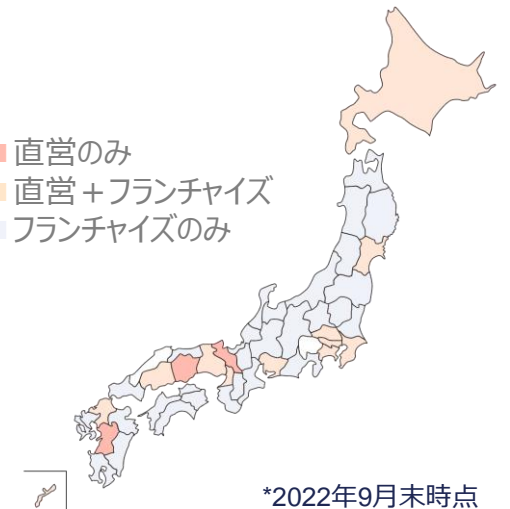
- ◆ 損害保険会社
- ◆ 保険会社
- ◆ 国内・国外自動車メーカー
- ◆ カーシェアリング運営会社
- ◆ カーリース運営会社 等

### フィールドサポート

**PREMIER** Assist

トラブル発生から解決までワンストップでサービス提供を行います。単なる現場対応に留まらず、感動体験の提供を目指します。

- 直営のみ
- 直営+フランチャイズ
- フランチャイズのみ



\*2022年9月末時点



不動産デベロッパーやマンション管理会社等に展開している「ホームアシスト」は、水漏れや鍵開け等、住まいに関するあらゆるトラブルに対するソリューションを提供し、電話受付から点検・修繕までを一貫して対応します。また、駐車場運営会社等向けに展開している「パークアシスト」は、コインパーキングやカーシェアリングステーションで起こるトラブル対応や保守点検等を行うサービスです。

## 主要ビジネス

### ホームアシスト

- ◆ 駆けつけサービス
- ◆ 設備機器保証延長サービス
- ◆ 設備機器点検サービス
- ◆ 住生活サービス
- ◆ ペットアシストサービス 等

### パークアシスト

- ◆ 駆けつけサービス
- ◆ メンテナンス
- ◆ 集金、清掃・巡回 等

## 主要クライアント

### ホームアシスト

- ◆ 不動産管理会社
- ◆ 大手エネルギー会社 等

### パークアシスト

- ◆ 駐車場運営会社
- ◆ カーシェアリング運営会社 等

## フィールドサポート

### PREMIER Assist

ロードサービスと同様、住まいや駐車場など暮らしのサポートも提供します。

### ホームアシスト

- ◆ 主要都市を中心に14拠点\*展開

### パークアシスト

- ◆ 主要都市を中心に11拠点\*展開

\*2022年9月末時点



## Global グローバル



海外日本語サービスは創業当初から続く事業です。海外旅行保険の被保険者に対し、渡航先での日本語による病院手配やキャッシュレス・メディカルサービス等を提供しています。そのノウハウや医療機関ネットワークを活かし、海外進出日系企業の駐在員や帯同家族向けに、病気や傷害に対処する「ヘルスケアプログラム」を展開しています。さらに、米国でクレジットヒストリーのない駐在員の信用補完を担い、クレジットカードの発行・運営サービスも展開しています。

### 主要ビジネス

海外日本語サービス

ヘルスケアプログラム

米国クレジットカード事業

### 主要クライアント

- ◆ 損害保険会社
- ◆ 海外進出日系企業  
(自動車メーカー、電機メーカー、  
商社、都市銀行、証券会社、  
IT関連会社、その他製造メーカー 等)

### 18カ国26拠点\*のネットワーク

\*2022年9月末時点



## Customer カスタマー



CRMを中心としたサービスを展開している事業です。クライアント企業からの依頼の中には、これまで扱ったことのないサービスや今後成長が見込まれるビジネスもあるため、当社グループでは、サービス拡大を図るための入り口の事業として捉え、独自性のあるビジネスの創造に注力しています。

### 主要ビジネス

CRMサービス  
製品延長保証  
人材派遣事業

### 主要クライアント

- ◆ クレジットカード会社
- ◆ 電機メーカー
- ◆ 大手飲料水会社
- ◆ 大手ECサイト運営企業 等

企業が提供する商品やサービスの付加価値向上と経営リスクの低減、長期にわたる「安心」と「信頼」という価値創造に貢献する事業です。家賃保証や医療費用保証等、様々なサービスを展開しています。

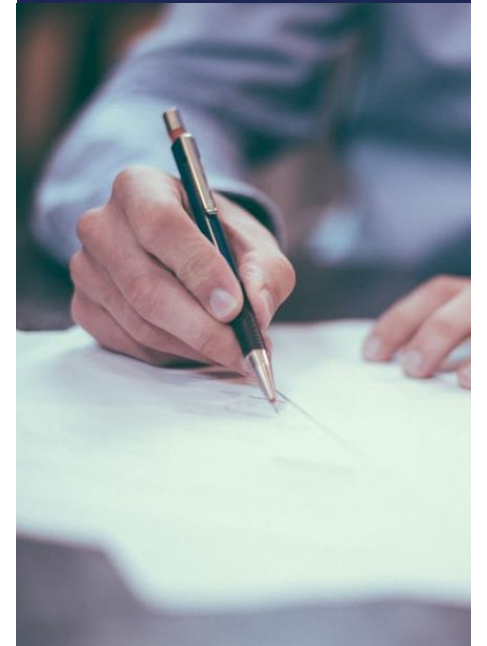
### 主要ビジネス

家賃保証  
住宅設備保証  
医療費用保証  
介護費用保証  
養育費保証

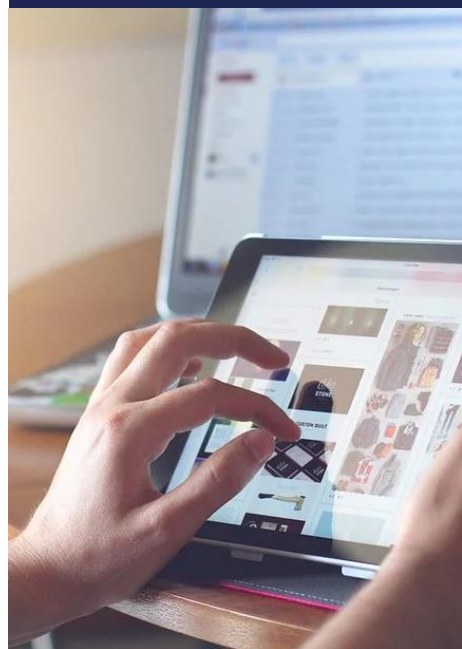
### 主要クライアント

- ◆ 賃貸住宅(アパート、マンション等)の運営・管理会社
- ◆ 医療機関
- ◆ 有料老人ホームの運営会社 等

## Financial Guarantee 金融保証



## IT



当社グループの「人でしかできない」サービス提供をIT技術を駆使して支える事業です。業務効率化のみならず、クライアント企業の業界に精通し蓄積したデータやノウハウをもとに、新たなサービスやビジネスモデルを生み出し、クライアント企業の利便性の向上に貢献してまいります。

### 主要ビジネス

SCMソリューション

ITソリューション

モバイルソリューション

地方創生は地方に拠点をもち当社グループの重要な経営戦略であり、使命であると考えます。スポーツを通じた地域活性や地域連携のサポートのほか、企業内保育園「オレンジリー」を中心に展開しています。

### 主要ビジネス

女子スポーツチーム「アランマーレ」

保育事業「オレンジリー」

地方創生事業

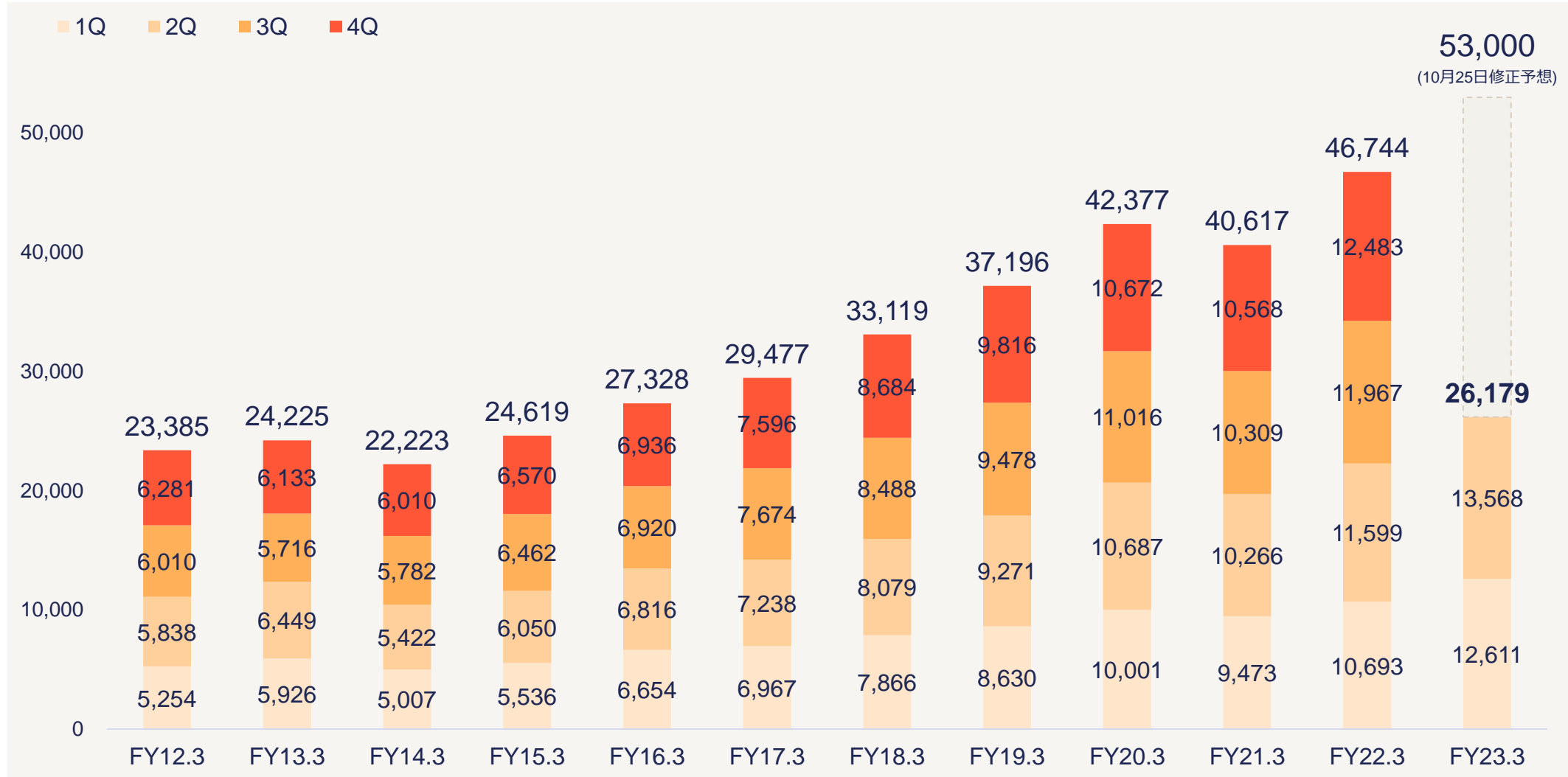
## Social ソーシャル



# 3. 業績推移

# 四半期売上高推移

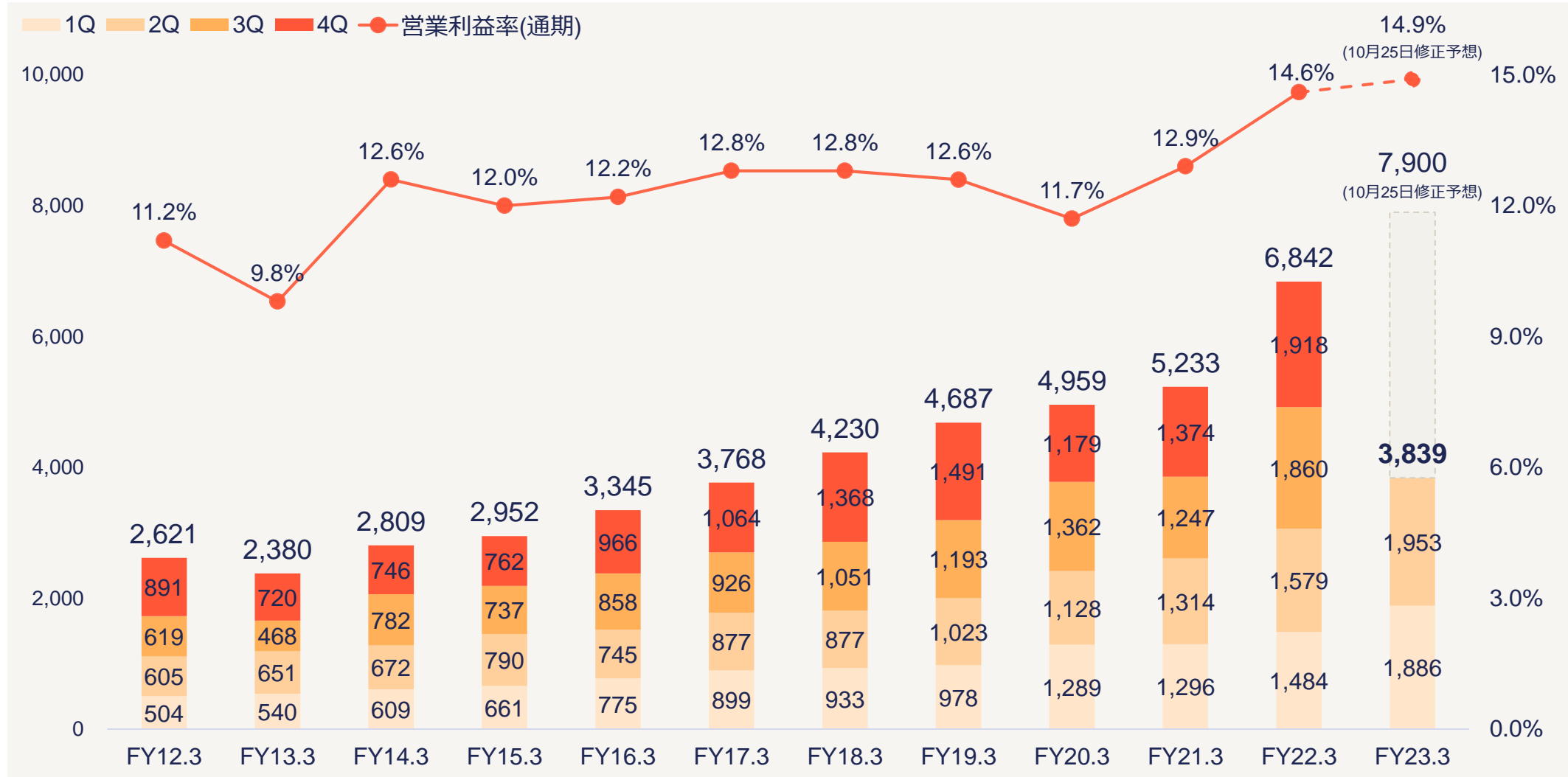
(百万円)



\*表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

# 四半期営業利益推移

(百万円)



\*表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

## 4. BPO拠点

## 地方都市で雇用を創出し、地域と共に成長する。

「なぜPIは地方都市でBPO拠点を展開しているのか。」  
これまでに、多くのステークホルダーの方々からこのご質問をいただきました。

当社グループでは多くの時間と資金をかけて地方都市にBPO拠点を開設し、優れた職場環境の提供や福利厚生を整え、多くの従業員を正社員として雇用しています。その結果、従業員＝人財が安心して長期的に働くことができます。人財が安定することでノウハウが蓄積され、優れた品質のサービス提供に繋がり、当社グループの成長を実現しています。

また、当社グループでは、若手従業員や女性従業員も多く活躍しているため、ライフスタイルに合わせた働き方や人事制度等の整備にも努めています。様々な地方都市において魅力的な職場を創造し、雇用創出を通し地域活性へ貢献したいと考えています。

今後の事業戦略として、  
当社グループは2年に1拠点開設を計画しています。  
2024年に岩手県一関市へ、  
そして2026年には秋田県湯上市へ。

今後も、地方と共に成長の歩みを進めまいります。





# 国内BPO拠点(稼働拠点) | 5県8カ所

- 総席数\*1 **5,013席**
- キャパシティ率\*2 **78.9%**  
(2022年9月末時点)  
(拠点別キャパシティ率は下記参照)
- 拠点離職率\*3 **6.4%**  
(2023年3月末予想)



今後の需要に応じ、  
施設の拡張計画立案中

秋田BPOメインキャンパス

富山BPOタウン

秋田BPO横手キャンパス

岩手BPOセンター(仮称)  
500席規模で開設予定

山形BPOパーク\*4

新潟BPO魚沼テラス

2026年  
秋田BPO潟上キャンパス(仮称)  
800席規模で開設予定

97.9%

2003年

75.9%

2015年

75.7%

2019年

81.9%

2021年

56.6%

2022年

68.8%

山形BPOパーク  
鶴岡ブランチ\*5

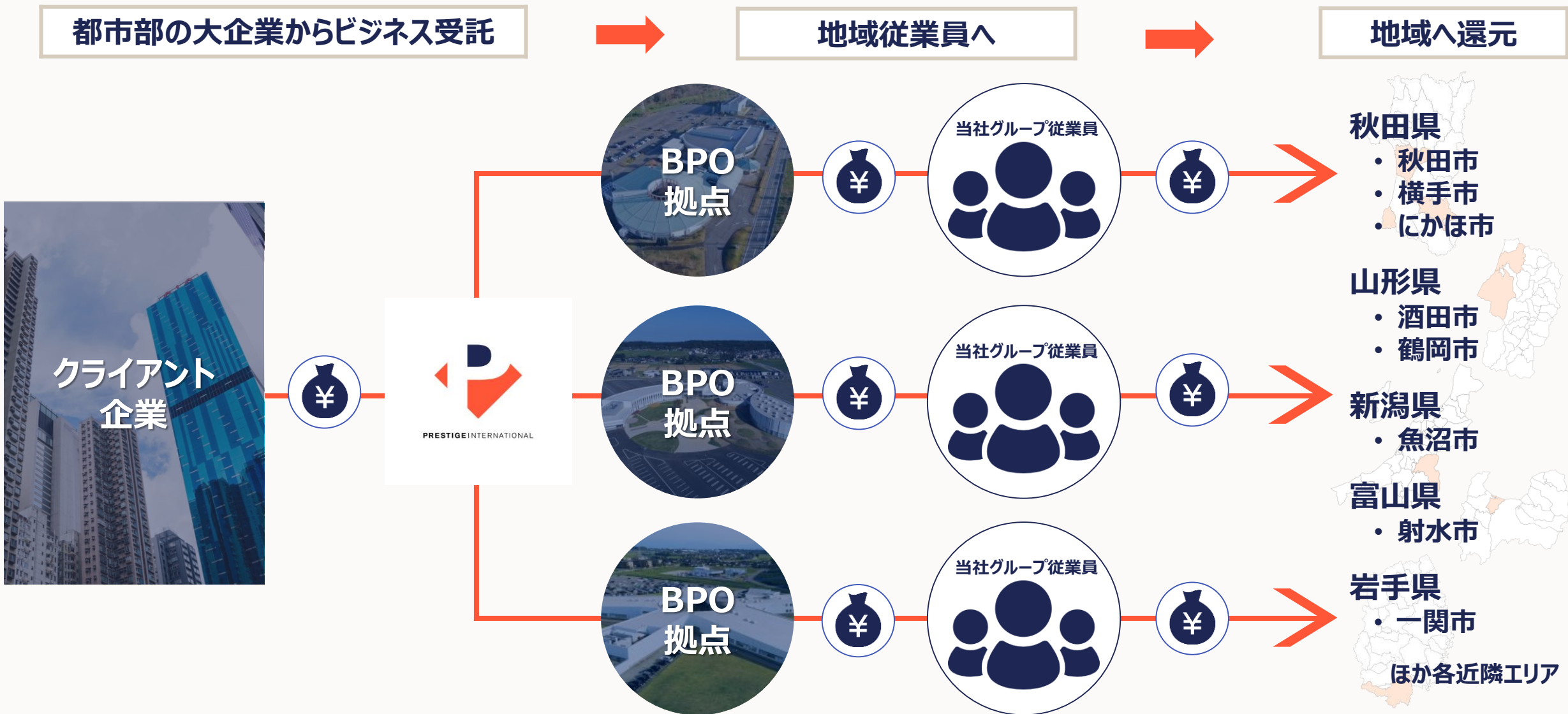
34.6%

2019年

2018年

秋田BPOにかほキャンパス\*6

\*1 2022年9月末時点で稼働中拠点の総席数。  
 \*2 在職者(派遣を含む)/席数  
 \*3 期間退職者/(期首直接雇用者【正社員+契約社員】+期間入社者) ※対象期間：2022年4月1日～2022年9月30日  
 \*4 2013年「山形BPOガーデン」として設立し2021年に500席規模の新棟増設に伴い、「山形BPOパーク」へ名称変更。  
 \*5 2018年「山形BPOガーデン鶴岡ブランチ」として開設し、\*4の名称変更に伴い「山形BPOパーク鶴岡ブランチ」へ名称変更。  
 \*6 2014年「秋田BPOメインキャンパスにかほブランチ」として開設後、2022年に500席規模となる「秋田BPOにかほキャンパス」として開設。



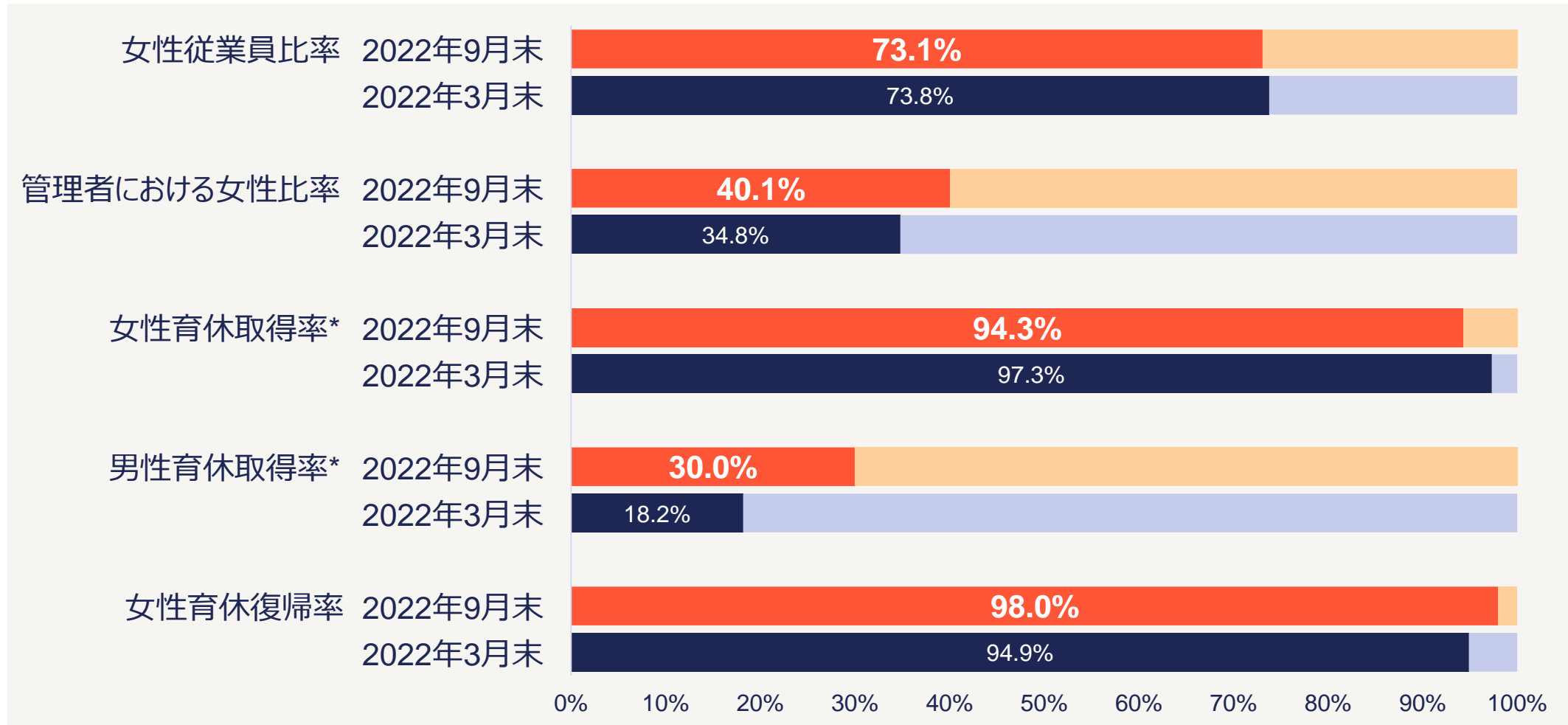
「ここで働きたい」  
そう思える職場環境を。

当社グループの「人でしかできない」サービスを  
支えるのは従業員です。

だからこそ、従業員一人ひとりが働きやすいと  
感じる職場環境づくりには、徹底的にこだわります。



対象... 株式会社プレステージ・インターナショナルの従業員



\*参考 国内育休取得率：女性85.1% 男性13.97% (出展：厚生労働省「令和3年度雇用均等基本調査」)

# 5. 株主還元

## ■ 基本方針／FY2023.3総還元性向

当社では、今後の事業計画や事業規模の拡大に向けた資金の充実を勘案しつつ、連結ベースの利益水準およびキャッシュフローの状況を踏まえ、継続的かつ安定的に実施いたします。  
ご参考：FY2022.3総還元性向：34.6%

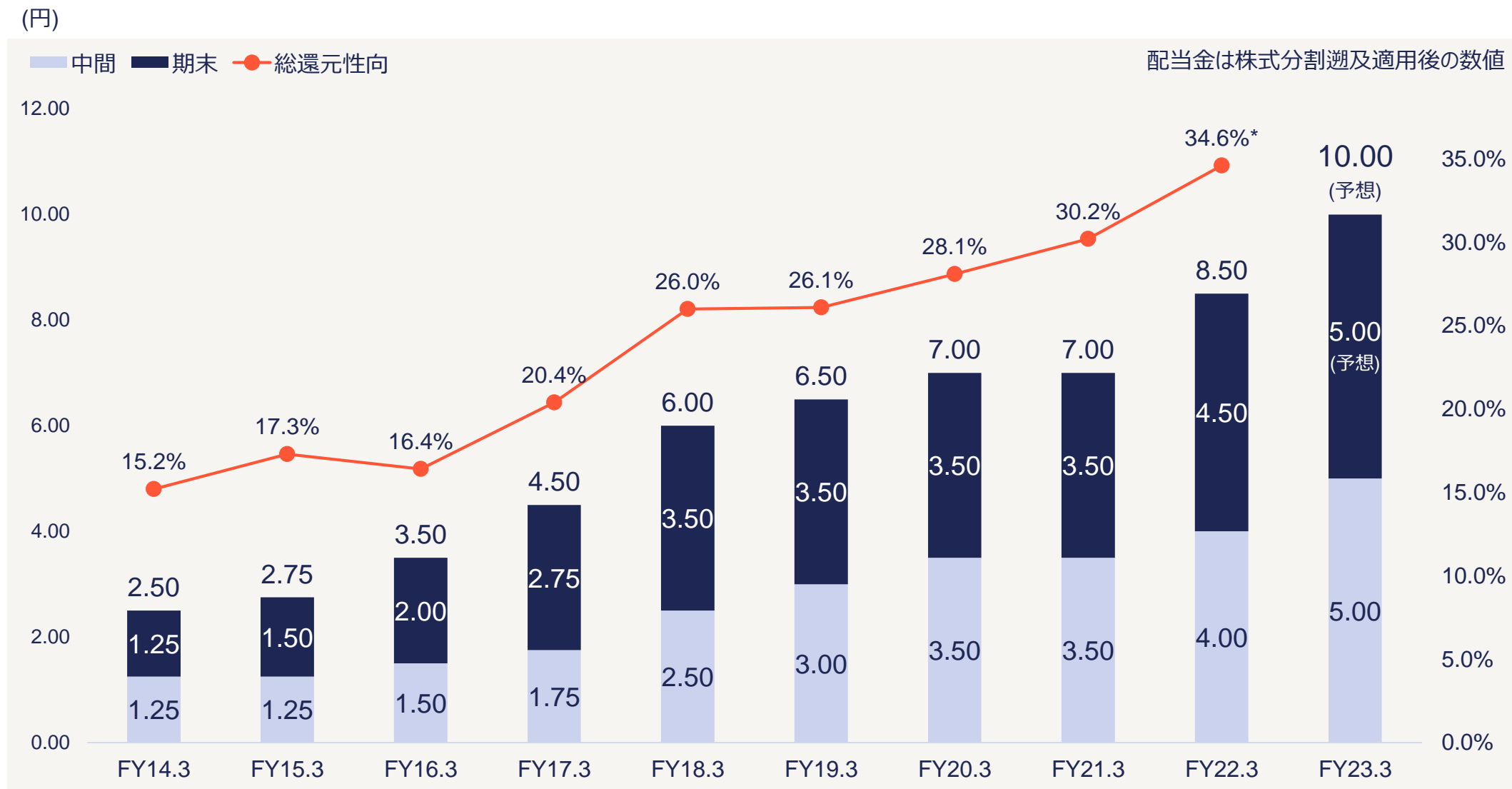
総還元性向

目標 30% 以上

## ■ 配当による還元

		中間	期末	合計
<b>FY2022.3</b>	1株当たり配当金(円)	4.00	4.50	8.50
	配当額(百万円)	512	574	1,086
<b>FY2023.3</b>	1株当たり配当金(円)	5.00	5.00 (予想)	10.00 (予想)
	配当額(百万円)	639	639 (予想)	1,278 (予想)

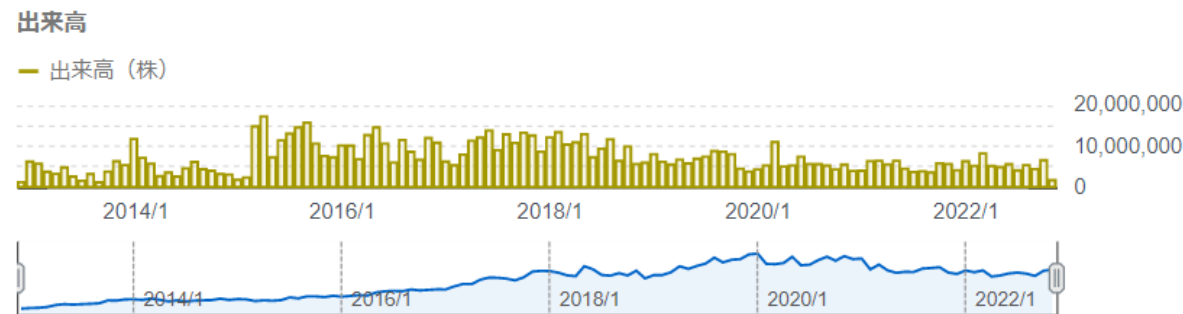
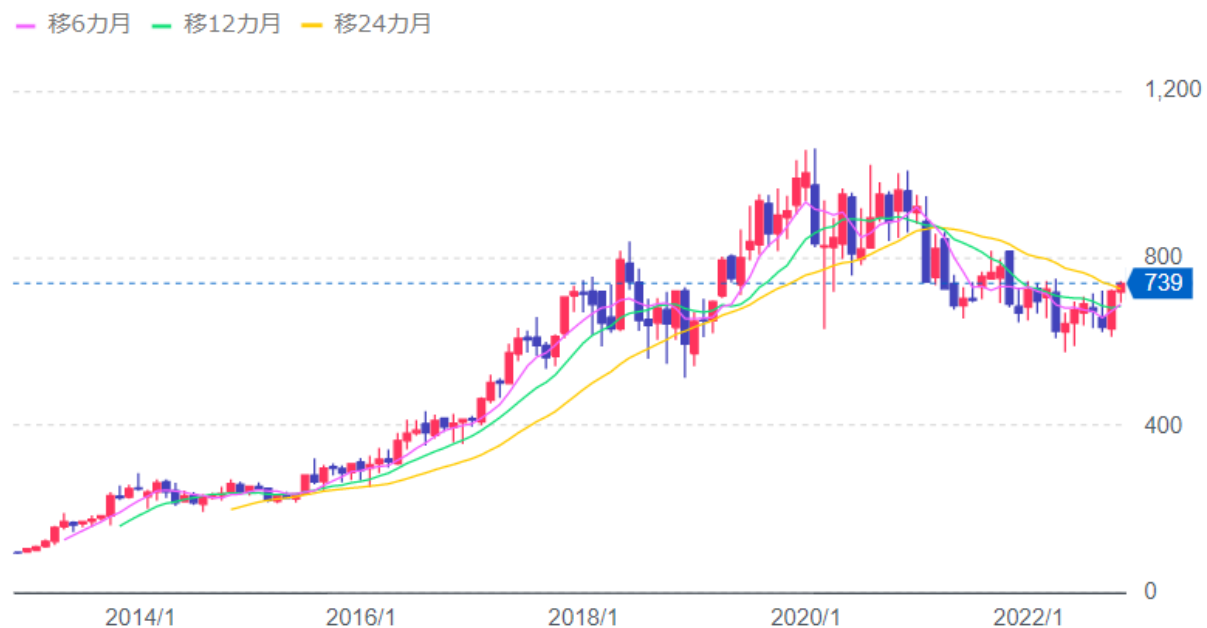
# 株主還元 | 1株当たり配当金



\*取得株式 580,000株 / 取得価額 417.9百万円の自己株式の取得を実施

時価総額	948 億円	株 価	739 円	最低購入代金	73,900 円
PER(予想)	19.25 倍	PBR(実績)	2.54 倍	配当利回り(予想)	1.35 %

(2022年11月14日時点／参照：Yahoo!Japanファイナンス)





## 6. サステナビリティ

当社グループは、「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」提言趣旨に賛同を表明いたします。  
【2022年5月13日賛同表明】

## ■ 背景・目的

近年の世界的な気候変動や自然災害による被害の深刻化を踏まえ、気候変動が当社グループに与える影響を的確に把握し、気候変動に関する対応を優先事項の一つとして捉え、CO<sub>2</sub>排出削減を含む様々な環境対応策を積極的に推進することにいたしました。今後はTCFDの枠組みに沿って、気候変動が当社グループの事業に影響を及ぼすリスク・機会を分析し、経営戦略に反映するとともに、提言に基づいた情報開示に取り組んでまいります。

## ■ 基本方針

1. ガバナンス 環境・社会課題の解決に向けた取り組みについて議論する機関としてサステナビリティ委員会を設置し、適宜取締役会に上程、報告を行います。
2. 戦略 環境負荷の低減を図り、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めるべく、シナリオ分析に取り組めます。
3. リスク管理 当社グループは、気候変動の緩和・適応に向けた活動に取り組んでいます。自然災害に対しては、リスクマネジメント計画・事業継続計画の策定と実行によりリスク低減に努めてまいります。
4. 指標 CO<sub>2</sub>排出量削減目標については、今後の社会動向を勘案し、中長期目標を策定の上、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指します。

## ■ CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロに向けた取り組み

当社グループは、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを達成すべく、2030年CO<sub>2</sub>排出量50%削減を目標に掲げ、その進捗を適時・適切に開示を行います。省エネ活動の推進、使用量の効率化や削減、省エネルギー設備の積極的な導入、社用車のEV車等への切り替えなど使用電力の再生可能エネルギー比率を高めていく取り組みを強化します。

また2024年に開設予定の「岩手BPOセンター(仮称)」を再生可能エネルギー100%利用のモデル施設と位置付け、その後の施設建設、施設改築の基準といたします。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 健康経営プロジェクト

“心もからだも健やかな状態で仕事ができるからこそ、より良いサービスの提供につながり、エンドユーザーのお困りごとを解決に導くことができる。” この考えに基づき、「プレステージ・インターナショナルグループ健康経営宣言2019」のもと、健康経営プロジェクトを発足し、全従業員が明るく健やかに働くことができるよう職場における健康づくりを推進します。

### ■ 健康経営プロジェクト体制

代表取締役のもと健康経営担当取締役を配置し、人事管理部門・経営統括部門を事務局として、健康経営の取り組み強化に努めています。また女性活躍推進担当の取締役も参画することで、女性の健康課題へのアプローチや経営層との円滑な連携を図り、当社の経営課題解決に向けた取り組みを推進しています。

### ■ 2023年度までの健康経営目標

女性が多い職場であること、また従業員の多くは20代～40代と病気に対する意識・行動が低いと考えられる世代であることに着目し、当社の健康課題を分析した結果、以下の目標達成に向け取り組みを行っています。

1. 貧血の有所見者\*1率10.4%以下を目指します (2021年度…10.2%)
2. BMI普通体重\*2維持者率65%以上を目指します (2021年度…59.7%)

\*1 ヘモグロビン値12.0g/dl未満者 / \*2 日本肥満学会の定めた基準に則りBMI18.5以上25未満者



▲ 健康経営優良法人2022に認定

## 女性活躍推進プロジェクト

当社では、若年層や女性が夢を持って働ける雇用環境を創造し、地域社会に貢献することを重要な基本戦略と位置付けております。2018年度より女性活躍推進プロジェクト(Woman Excite Project “WEPRO”)を発足し、女性管理者比率50%の達成を目標に掲げています。人事制度や人材育成方法の見直し等を通し、柔軟な働き方、多様な働き方等を推進します。

### ■ 各種取り組み・制度について

- ・ 企業内保育園「オレンジリー」の設置
- ・ 女子スポーツチーム「アランマーレ」の設立(女子スポーツ選手が働きながらスポーツを続けられる環境づくりへの取り組み)
- ・ 時間単位有給休暇制度(2019年6月～)
- ・ ジョブリターン制度(2019年12月～)
- ・ 新生活サポート制度(2020年5月～)
- ・ Director制度(2021年2月～)
- ・ 同性パートナーシップ取扱規程(2022年4月～)

### ■ 2022年度の取り組みについて

WEPROでは、女性に限らず多様な人材が活躍できるよう、ダイバーシティ推進へと取り組みの範囲を広げております。その一環として、4月に「同性パートナーシップ取扱規程」を導入しました。また、男性従業員育児休業取得率年平均値20%以上（2022年度～2023年度）を目指すとともに、当社役員による女性管理職向け研修等も引き続き実施してまいります。



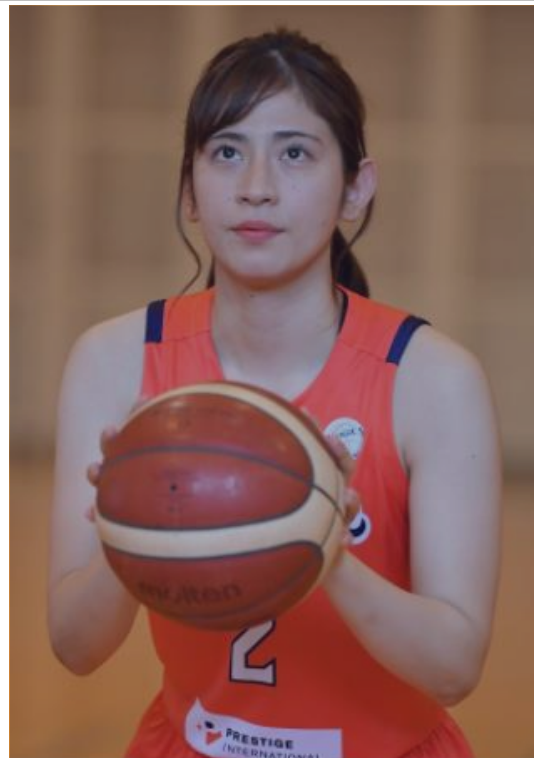
▲ 女性活躍推進企業として「えるぼし認定」2つ星取得

## Team Concept

### チームコンセプト

地域の皆様に愛され、  
共に成長するチーム

女性が活躍できる場を増やし、  
女性応援のシンボルとなるチーム



## アランマーレ山形 バレーボール 2015年度設立

活動地域：山形県酒田市  
所属リーグ：V.LEAGUE DIVISION2  
WOMEN

V.LEAGUE DIVISION2 WOMEN  
レギュラーシーズン (10月～翌3月)



## アランマーレ富山 ハンドボール 2016年度設立

活動地域：富山県射水市  
所属リーグ：日本ハンドボールリーグ

日本ハンドボールリーグ  
レギュラーシーズン (7月～翌3月)

## アランマーレ秋田 バスケットボール 2015年度設立

活動地域：秋田県秋田市  
所属リーグ：W LEAGUE

W LEAGUE  
レギュラーシーズン (10月～翌3月)



# 7. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(百万円)

\*対米ドル為替レート(予想)：143.81円(2022年9月30日時点)  
\*表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

	FY2023.3 修正予想	FY2022.3 実績	YoY 増減	YoY (%)	FY2023.3 期首予想	対期首 増減	対期首 増減(%)
売上高	53,000	46,744	+6,256	+13.4%	52,000	+1,000	+1.9%
営業利益	7,900	6,842	+1,057	+15.5%	7,400	+500	+6.8%
経常利益	8,150	7,151	+998	+14.0%	7,600	+550	+7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,900	4,357	+542	+12.5%	4,500	+400	+8.9%

- カスタマー事業において、地方自治体等から受託しているワクチン接種関連業務が2022年9月にはすべて終了する前提で期首予想をしていたが、期間延長決定。その他取引先の新たな業務アウトソース需要の高まりは引き続き旺盛と見込む。
- グローバル事業において経済活動の活性化に伴い、サービス利用者数の回復により、収益回復を見込む。
- 金融保証事業を運営するグループ会社の株式会社イントラスト(7191)において、当初計画を上回り、堅調且つ継続的に推移。

(百万円)

\*表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

	FY2022.3 / 2Q	FY2023.3 / 2Q	YoY(%)	通期予想 (10月25日修正)	計画達成率
売上高	22,293	26,179	+17.4%	53,000	49.4%
営業利益	3,063	3,839	+25.3%	7,900	48.6%
経常利益	3,136	4,039	+28.8%	8,150	49.6%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,853	2,458	+32.7%	4,900	50.2%

■ 売上高

主要事業セグメントにおいて、既存クライアントからの受託業務が安定的・継続的に推移。オートモーティブ事業が前年比10%以上伸長したこと、カスタマー事業における自治体等からの受託事業（ワクチン接種センター運営支援等）が大幅に増加。グローバル事業においてサービス利用者数の回復が顕著。金融保証事業が堅調に推移し増収。

■ 営業利益

新規受託事業立ち上げに向けた先行投資を継続しながらも、既存業務の拡充に加え、新規受託業務の増加が寄与し、増益。



## 8. 質疑応答

IRニュース配信サービスは、プレステージ・インターナショナルの最新情報やニュースリリースなどを、ご登録いただいた皆様に電子メールにてお知らせするサービスです。  
この機会にぜひご登録ください。

**ご登録はこちらから**

**IRニュース配信サービス登録**

**QRコードからもご登録いただけます**



※登録・購読無料

## 本資料の取り扱いについて

本資料は当社をご理解いただくための情報提供を目的としており、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の予想に関する記述等につきましては、現時点における目標や予測に基づき判断したものであり、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績の数値、結果、パフォーマンス等は、現時点における将来の予想と異なる結果となる可能性がある点をご確認の上、ご利用ください。

本資料に記載された将来の事項は、経済情勢および市場環境や当社グループの関連する業界動向の変化、その他内部・外部要因等により予告なく変更することがあります。

# 問い合わせ先

株式会社プレステージ・インターナショナル  
グループ経営統括本部 IR・CSR推進室

TEL : 03-5213-0826

E-mail : [ir@prestigein.com](mailto:ir@prestigein.com)



**PRESTIGE** INTERNATIONAL